



◇巻頭言 手製日記は道しるべ(続編)

『新春にあたり、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。』と平成最後の年、令和元年を迎える年の巻頭言に祈念させて頂き、今日は師走を目の前にして今年がどのような年だったか？ チコちゃんの言を借りれば大人になり感動が薄れたから1年が早いらいが、それにしても早い。

早いがいあまりにも災害が多発(地球規模で)、異常高温、集中豪雨、海水面の上昇スーパー台風(ハリケーン)等々で甚大な被害が出たと記録される年なのか、それとも今後これが常態になるのか？ 人間の経済活動・社会活動が起因した結果だと認知され始めているような気がするのですが。

話を変える訳ではないのですが、定年を迎え心機一転、前からしてみたいと思っていた植木屋の手伝いを始めました。自然物を相手にしたこの世界でも人間の欲望や願望・自己中心性と言った自然の摂理に反する様な事や物が商売の種に成っています。

例えば、芝刈りの少ない芝(芽は詰まっているが生長が遅い)、姿勢が良く暴れず生長の遅い手入れいらずの木等、品種改良や遺伝子組み換えを行いいじりにいじりまくって創った植物で庭を造っています。

今年の結びは、自然界の有り様を自然のままに受入れ我慢したり、足りない所は工夫し補う生活を実践し化学技術は人間だけがより良い生活を求める術でなく地球全体がより良い環境でいられるような技術になる事が必要になった『年』となるかも知れないと結ぼうと思っています。(渡邊)

●令和元年 11月・12月の活動予定

※活動可否の連絡に関して:原則、小雨決行です。中止の場合は緊急連絡網(am7時頃)で連絡致します。

1) 11月10日(日)9時半~14時半

・集合場所: 池の下倉庫

・作業目的: 景観の良い森を目指して(災害の復旧作業)

・作業内容: 区域 A (尾根道大丸エリア) 倒木、欠損木の除伐と片付け。

: ボラ塾生への伐採指導。

: チルホール作業の習熟。

・持ち物 : 常備具(手ノコ、ナタ、カマ)、お弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】チェーンソー、チルホール、ロープ、スコップ、救急箱、シート
作業旗、カケヤ

2) 11月24日(日)9時~14時半

・集合場所: 池の下倉庫

・作業目的: 景観の良い森を目指して(災害の復旧作業)

・作業内容: 区域 A (尾根道大丸エリア) 倒木、欠損木の除伐と片付け。

:10 ㄥ×10 ㄥ四方のスギ立木本数を 10 本に間引く間伐を行なう。

:チルホール作業の習熟。

・持ち物 :常備具(手ノコ、ナタ、カマ)、お弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】チェンソー、チルホール、ロープ、スコップ、救急箱、シート
作業旗、カケヤ

3)11月30日(土) 3部会合同小いたち川の枝おろし・除草作業

来夏のホタルのイルミネーションが見られるよう 小いたち川の環境
整備にご協力お願い致します。

※注:集合時間・集合場所は後日メールします。

4) 12月8日(日) 9時半～14時半

・集合場所:池の下倉庫

・作業目的:景観の良い森を目指して(災害の復旧作業)

・作業内容:区域 A(尾根道大丸エリア)倒木、欠損木の除伐と片付け

:10 ㄥ×10 ㄥ四方のスギ立木本数を 10 本に間引く間伐を行なう。

:チルホール作業の習熟。

・持ち物 :常備具(手ノコ、ナタ、カマ)、お弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】チェンソー、チルホール、ロープ、スコップ、救急箱、シート
作業旗、カケヤ

次回 No.155 号の原稿に関し、上記活動報告は小嶋泰家氏巻頭言は佐谷氏 リレートークは
高康弘氏です。原稿の締め切りは令和 1 年12月25日(水)、伊藤氏迄宜しくお願いします。
欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【樹林地部会 活動日誌】

報告者 伊藤

森づくり研修報告 山田氏記

令和元年9月3日(水) 安全管理研修

研修参加者 瀬上さとやまもりの会からは 伊藤、山田の 2 名

その他の参加者 10 数名

研修内容 9 時半開始 市担当者から講師紹介、研修の目的、内容の説明。

神保講師より、夏の作業時の注意点、事故が起こる要因について説明を受け、
その後実習活動に入る。

実習では特に 9 月以降活発化する蜂の特性について注意を受ける。 また斜面での伐採に
ついて、伐採後の樹木の整理について講義を受け、参加者を 2 チームに分け、
それぞれが実習を行った。

植物では特に気を付けなければいけない植物は、ツタウルシ。この植物はどこにでもあ
り、作業者は要注意である。 かぶれる確率がかなり高く危険である。

普段使用しているハサミは使用時にロックを外すのではなく、移動時も常にロックを外し
て置くと、ケースからの落下事故が少なくなる。

実習終了後、南部事務所に戻り、鎌、のこぎり、はさみの研ぎ方整理の仕方の講義を受け
た、特に使用しているはさみの大きさの選び方は、手のひらの長さに合わせると、自分に合

ったハサミの能力を十分に発揮できるとの説明を受けた。
終了は 12 時 10 分ごろ

令和元年 9 月 8 日(日)晴れ 9:30~12:30

参加者: 渡部 三島 佐谷 浅見 武内 高 小嶋
枝村 山上 伊藤 計 10 名 (小宅氏通信を交換に別行動)

○漆窪からの道が崖崩れで立ち入り禁止の報に中尾根経由
旧研修地へ向かう。

○大丸エリアでのコドラート10m²を2箇所作成、杉等の計測をした。

○崖崩れ(橋が流されていた)箇所を下り、台風 15 号襲来に備え
池の下広場の堰き止め箇所の土砂を掘り上げた。



令和元年 9 月 22 日(日)晴 9:30~12:20

台風 15 号の被害調査兼作業

参加者: 三島 渡部 渡邊 佐谷 浅見 武内
高嶋 枝村 小宅 山上 伊藤 計 11 名

○至る所で倒木、崖崩れなど目撃。

○南部公園より倒木には安全を第一として、作業を行うことの注意あり。

○佐谷本部会計より分配金、渡邊氏よりイベント会員に付き報告。



令和元年 10 月 13 日(日) 台風 19 号活動中止の連絡あり。
通過後の瀬上です。



令和元年 10 月 27 日(日)晴時々曇り

参加者 三島 渡邊 渡部 浅見 武内 竹内 枝村

小宅 伊藤 遅れて山上 計 10 名

ラジオ体操後 いっしんどう経由 旧研修地へ。途中、中尾根で散策路を塞ぐ杉倒木をチェーンソーで処理。台風後の倒木はいたるところに見られ、持参したチェーンソー3台を効率良く使い玉切りにして処理した。

13 時山上会長と伊藤が雙葉小が借りている地主の角田家へ挨拶に行った。



◆ リレートーク&編集後記

9, 10 月の作業は活動記録にあるとおり、台風 15 号、19 号の瀬上市民の森での被害状況を歩いて把握しました。倒木、がけ崩れの恐ろしさを目の当たりにして、ニュース、テレビ等、報道で目にする全国各地の甚大な被害状況にも思いを馳せました。

改めて人間の営みの中で森の果たす役割について考える機会としてとらえなおし、私たちができることは何か？を問い直し、一層安全面に配慮して、行政、愛護会とも協力しあい、【ワンチーム】で次世代につなげる緑地保全でありたいと検討しあいました。



栄区民芸術祭 【農の生け花】 台風にも耐えた畑の野菜たち。

今回リレートーク担当の酒巻氏は病気療養中のため、小宅が書きました。体調を崩され、思うように活動できない方々もおられます。十分に養生され、お散歩がてらでも元気な顔をお見せくださるよう、どうぞ、お大事になさってください。(小宅)